

特別企画：栃木県内企業のメインバンク実態調査（2020年）

栃木銀行 2年連続でシェアアップ

～群馬銀行主要6業種で3位に定着、県内に存在感～

はじめに

TSUBASA アライアンスやSBI・地銀連合など地方銀行の再編への動きが活発化している。地銀では、本業で利益が生まれないケースも目立っており、政府も金融再編を後押しするようなコメントが聞かれるなど、今後大きなうねりとなることが十分考えられる。一方で企業にとっては、金融機関との取引や良好な関係性を保つことは、事業推進の上で大きなファクターであり、安定した資金の供給や付帯するサービスの提供は欠かせないものだ。その意味でも、金融機関の動向は大いに注視していかなければならないだろう。

そこで、帝国データバンク宇都宮支店では、2020年10月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている約147万社のデータの中から、栃木県内企業約2万2000社（全業種・個人営業含む）が、メインバンクと認識している金融機関について抽出し、県内企業と金融機関の関係実態について調査集計した。

なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。栃木県内においての同調査は前回2019年10月に続き11回目。

※本調査は「COSMOS2」に収録されているデータのため、各金融機関がメインとして認識する企業とは異なるケースもある。また、一企業に複数のメインバンクがある場合は、各企業が最上位と認識する金融機関をメインバンクと集計した。

調査結果(要旨)

1. 栃木県内企業のメインバンク、社数でトップは足利銀行（10,237社・シェア46.85%）で、調査開始以来11年連続で首位に君臨している。2位は栃木銀行（5,345社・24.46%）、3位は群馬銀行（904社・4.14%）と続いた。栃木銀行は2年連続でシェアアップしており、群馬銀行が県内各信用金庫を抑えて3位の座に定着した。
2. すべての業種で足利銀行がトップ、栃木銀行が2位であった。3位については「小売」で栃木信金がランクインしたが、その他の6業種では群馬銀行が独占した。売上高規模別では、足利銀行がすべてのカテゴリーでトップ、売上高50億円未満の5つのカテゴリーでは栃木銀行が2位を堅持した。しかし、50億円以上の企業になると、みずほ銀行が2位に食い込み、4位三菱UFJ銀行、5位に三井住友銀行とメガバンクが名前を連ねている。

1. 足利銀行 11 年連続首位、栃木・群馬がシェアアップ

栃木県内企業がメインバンクと認識している金融機関は、次頁表のとおりであった。1位は足利銀行（社数 10237 社・シェア 46.85%）で、当調査開始以来 11 年連続で首位を譲ることなく圧倒的なシェアを誇っている。ちなみに「めぶき FG」である常陽銀行を加えると、メインバンクとする企業は 10,599 社、シェアは 48.51%と、県内企業の 2 社に 1 社がメインバンクとしていることがわかる。引き続き大きな影響力を維持しているということが改めて確認できた。2位には栃木銀行（5,345 社・24.46%）が入り、こちらも 11 年連続で 2 位の座を確保した。地銀 2 行のシェアは 71.31%にもものぼり、10 社のうち 7 社が地元地銀 2 行をメインバンクとしている実態が明らかになった。3位は群馬銀行（904 社・4.14%）、県外金融機関ながら、栃木県内の各信用金庫を抑えてこのランクを確固たるものとしている。4位は地元信用金庫から、鹿沼相互信用金庫（610 社・2.79%）がランクイン。5位には足利小山信用金庫（606 社・2.77%）、6位には栃木信用金庫（604 社・2.76%）が続いた。4位から 6位の地元信用金庫 3 行は社数も 10 社以内と常にしのぎを削っており、順位が入れ替わることも多々ある。今回は、鹿沼相互信金が 4位にランクアップ、足利小山信金が 5位にランクダウンとなった。上位 20 行の中ではランクの変動はこの 2 行だけであった。また、シェアアップした金融機関としては、栃木銀行、大田原信用金庫、佐野信用金庫、真岡信用組合が 2 年連続でシェアアップを果たしており、シェアダウンについては、足利銀行、みずほ銀行、筑波銀行、りそな銀行、東和銀行、商工組合中央金庫などが 2 年連続でシェアダウンとなった。

参考までに全国メインバンク調査の結果を見ると、トップは三菱 UFJ 銀行（社数 98,120 社・シェア 6.74%）、2位は三井住友銀行（78,639 社・5.41%）、3位はみずほ銀行（63,208 社・4.34%）とメガバンクが上位を独占した。栃木県内の金融機関としては、21 位に足利銀行（13,388 社・0.92%）、57 位に栃木銀行（6,647 社・0.46%）がランクインした。近隣の金融機関としては 13 位に常陽銀行（15,522 社・1.07%）、15 位に群馬銀行（15,221 社・1.05%）が入っている。

1 年や 2 年といった短いスパンではメインバンクの状況にも変化は乏しく、シェアや取引企業数にドラスティックな結果は生じないのが通例だ。しかし冒頭に述べたように、地銀の再編への動きが高まる中、県内企業にとっても看過できない事態が今後起きうることも予想しておかなければならないであろう。例えば県内における「めぶき FG」の存在は絶大なものがあるが、メインバンク社数 3 位のシェアを有する群馬銀行は「TSUBASA アライアンス」への参加を表明している。このアライアンスは千葉銀行などを中心とした巨大組織であり、今回の全国調査では、メインバンク社数が実に 140,641 社とメガバンクよりはるかに多い取引社数であることが判明している。こういったネットワークに参加している銀行の魅力を考えれば、「めぶき FG」であっても脅威に感じるはずだ。まして、栃木銀行や地元信用金庫程度の資本力、資金力では生き残りをかけた今回の

再編の波に簡単に飲み込まれることも十分予想できることである。改めて、金融機関の動向には細心の注意が必要だと感じた。

経年比較		2020年			2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)		(社)		(pt)
1	足利	10,237	46.85%	▲ 0.18	1	10,392	47.03%	▲ 0.33
2	栃木	5,345	24.46%	+0.13	2	5,376	24.33%	+0.22
3	群馬	904	4.14%	+0.14	3	884	4.00%	±0.00
4	↑ 鹿沼相互信金	610	2.79%	▲ 0.04	5	625	2.83%	+0.04
5	↓ 足利小山信金	606	2.77%	▲ 0.08	4	630	2.85%	±0.00
6	栃木信金	604	2.76%	+0.02	6	605	2.74%	▲ 0.02
7	みずほ	428	1.96%	▲ 0.06	7	447	2.02%	▲ 0.02
8	烏山信金	410	1.88%	▲ 0.03	8	421	1.91%	+0.06
9	常陽	362	1.66%	±0.00	9	367	1.66%	▲ 0.03
10	大田原信金	299	1.37%	+0.03	10	296	1.34%	+0.07
11	佐野信金	243	1.11%	+0.02	11	241	1.09%	+0.03
12	那須信組	227	1.04%	▲ 0.02	12	234	1.06%	+0.02
13	筑波	190	0.87%	▲ 0.03	13	199	0.90%	▲ 0.02
14	真岡信組	155	0.71%	+0.02	14	152	0.69%	+0.03
15	三井住友	118	0.54%	+0.01	15	118	0.53%	▲ 0.01
16	りそな	98	0.45%	▲ 0.03	16	106	0.48%	▲ 0.01
17	東和	85	0.39%	▲ 0.03	17	92	0.42%	▲ 0.01
18	三菱UFJ	66	0.30%	+0.02	18	62	0.28%	▲ 0.01
19	商工中金	59	0.27%	▲ 0.01	19	61	0.28%	▲ 0.03
20	東邦	55	0.25%	±0.00	20	55	0.25%	▲ 0.04

2. 業種別 ～足銀、栃銀の優位変わらず。群馬銀行が6業種で3位を堅持

業種別のメインバンクの状況については、主要7業種すべてにおいて、足利銀行がトップ、栃木銀行が2位という位置づけに変化はなかった。3位については、「小売」については栃木信用金庫がランクインしたが、残る「建設」、「製造」、「卸売」、「運輸・通信」、「サービス」、「不動産」の6業種については群馬銀行が3位を堅持した。4位については、「建設」、「製造」、「運輸・通信」の3業種では鹿沼相互信用金庫が、「卸売」、「不動産」の2業種ではみずほ銀行、「小売」は群馬銀行、「運輸・通信」は栃木信用金庫（鹿沼相互信金と同位）、「サービス」では足利小山信用金庫といったように、し烈な競争がある。シェアアップで目立ったのは、「運輸・通信」の群馬銀行（+0.54%）、「卸売」の栃木銀行（+0.37%）、「建設」の栃木銀行（+0.33%）、「小売」の栃木銀行（+0.20%）などであった。一方シェアダウンについては、足利銀行がすべての業種でわずかながら取引社数を減らしているようだ。また、「運輸・通信」の栃木銀行（▲0.76%）も目立った。

2019年との比較においては、新たに新設された企業もあれば、逆に倒産、休廃業・解散などにより減少することもある。企業数は変化しており、単純な比較はできないのかもしれない。しかし、弊社が確実に営業状態を確認できている現段階の実数であり、その企業の取引銀行という目線に立てば、極めて信ぴょう性は高いものであることがわかる。各銀行のシェアを見れば、業種別の濃淡や注力の度合いまで推定できると云えるだろう。

建設		2020年				2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)			(社)	(pt)		
1	足利	3,137	47.89%	▲0.04	1	3,176	47.93%	▲0.46	
2	栃木	1,763	26.91%	+0.33	2	1,761	26.58%	+0.30	
3	群馬	243	3.71%	+0.12	3	238	3.59%	▲0.04	
4	鹿沼相互信金	197	3.01%	▲0.07	4	204	3.08%	+0.04	
5	栃木信金	194	2.96%	+0.02	5	195	2.94%	+0.07	
6	足利小山信金	172	2.63%	▲0.10	6	181	2.73%	▲0.09	
7	烏山信金	161	2.46%	▲0.03	7	165	2.49%	+0.07	
8	常陽	105	1.60%	▲0.05	8	109	1.65%	+0.01	
9	大田原信金	88	1.34%	▲0.02	9	90	1.36%	+0.06	
9	↑ 那須信組	88	1.34%	+0.01	10	88	1.33%	+0.11	

製造		2020年				2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)			(社)	(pt)		
1	足利	1,243	42.11%	▲0.03	1	1,259	42.14%	▲0.07	
2	栃木	623	21.10%	+0.15	2	626	20.95%	+0.20	
3	群馬	181	6.13%	+0.01	3	183	6.12%	±0.00	
4	鹿沼相互信金	122	4.13%	▲0.19	4	129	4.32%	+0.01	
5	足利小山信金	119	4.03%	▲0.05	5	122	4.08%	+0.04	
6	みずほ	101	3.42%	▲0.09	6	105	3.51%	+0.08	
7	栃木信金	81	2.74%	▲0.04	7	83	2.78%	▲0.21	
8	常陽	63	2.13%	+0.09	8	61	2.04%	▲0.01	
9	↑ 佐野信金	47	1.59%	+0.08	10	45	1.51%	▲0.07	
10	↓ 烏山信金	46	1.56%	▲0.01	9	47	1.57%	+0.09	

卸売		2020年				2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)			(社)	(pt)		
1	足利	938	46.25%	▲0.29	1	962	46.54%	+0.27	
2	栃木	503	24.80%	+0.37	2	505	24.43%	+0.20	
3	群馬	120	5.92%	+0.16	3	119	5.76%	+0.11	
4	みずほ	78	3.85%	▲0.07	4	81	3.92%	▲0.17	
5	栃木信金	51	2.51%	+0.14	5	49	2.37%	▲0.05	
6	足利小山信金	41	2.02%	▲0.06	6	43	2.08%	▲0.15	
7	↓ 鹿沼相互信金	39	1.92%	▲0.16	6	43	2.08%	+0.04	
8	常陽	32	1.58%	+0.08	8	31	1.50%	▲0.16	
9	大田原信金	28	1.38%	+0.12	9	26	1.26%	+0.02	
10	三井住友	23	1.13%	▲0.08	10	25	1.21%	+0.02	

小売		2020年				2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)			(社)	(pt)		
1	足利	1,328	44.02%	▲0.04	1	1,365	44.06%	▲0.56	
2	栃木	793	26.28%	+0.20	2	808	26.08%	+0.50	
3	栃木信金	102	3.38%	▲0.04	3	106	3.42%	▲0.03	
4	↑ 群馬	97	3.22%	+0.12	5	96	3.10%	▲0.09	
5	↓ 足利小山信金	92	3.05%	▲0.15	4	99	3.20%	▲0.09	
6	↑ 鹿沼相互信金	86	2.85%	+0.04	6	87	2.81%	+0.19	
7	↑ 大田原信金	60	1.99%	+0.02	9	61	1.97%	+0.05	
7	烏山信金	60	1.99%	▲0.11	7	65	2.10%	▲0.04	
9	↓ 那須信組	59	1.96%	▲0.04	8	62	2.00%	▲0.04	
10	みずほ	54	1.79%	▲0.11	10	59	1.90%	▲0.05	

運輸・通信		2020年				2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)			(社)	(pt)		
1	足利	339	44.84%	▲0.07	1	340	44.91%	+1.04	
2	栃木	181	23.94%	▲0.76	2	187	24.70%	▲0.10	
3	群馬	49	6.48%	+0.54	3	45	5.94%	▲0.59	
4	↑ 栃木信金	21	2.78%	+0.14	5	20	2.64%	+0.11	
4	鹿沼相互信金	21	2.78%	▲0.13	4	22	2.91%	▲0.29	
6	足利小山信金	19	2.51%	+0.13	6	18	2.38%	+0.11	
7	↑ 佐野信金	16	2.12%	+0.01	8	16	2.11%	+0.11	
7	烏山信金	16	2.12%	▲0.13	7	17	2.25%	+0.12	
9	常陽	14	1.85%	+0.26	9	12	1.59%	+0.12	
10	みずほ	10	1.32%	±0.00	10	10	1.32%	▲0.15	

サービス		2020年				2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)			(社)	(pt)		
1	足利	2,413	50.90%	▲0.32	1	2,433	51.22%	▲0.48	
2	栃木	1,091	23.01%	▲0.15	2	1,100	23.16%	+0.30	
3	群馬	143	3.02%	+0.16	3	136	2.86%	+0.16	
4	足利小山信金	127	2.68%	▲0.04	4	129	2.72%	+0.19	
5	栃木信金	126	2.66%	+0.03	5	125	2.63%	▲0.01	
6	鹿沼相互信金	102	2.15%	+0.07	6	99	2.08%	+0.07	
7	みずほ	81	1.71%	▲0.04	7	83	1.75%	+0.08	
8	烏山信金	79	1.67%	+0.01	8	79	1.66%	+0.03	
9	常陽	72	1.52%	▲0.04	9	74	1.56%	▲0.07	
10	大田原信金	61	1.29%	+0.09	10	57	1.20%	+0.06	

不動産		2020年				2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)			(社)	(pt)		
1	足利	566	48.02%	▲0.55	1	579	48.57%	▲1.64	
2	栃木	277	23.51%	▲0.15	2	282	23.66%	+0.31	
3	群馬	44	3.74%	+0.13	3	43	3.61%	+0.26	
4	↑ みずほ	30	2.56%	▲0.04	5	31	2.60%	+0.11	
5	↓ 足利小山信金	30	2.55%	▲0.13	4	32	2.68%	+0.19	
6	鹿沼相互信金	25	2.13%	+0.12	6	24	2.01%	▲0.14	
7	烏山信金	23	1.96%	+0.03	7	23	1.93%	+0.38	
8	常陽	18	1.54%	+0.11	8	17	1.43%	▲0.12	
9	栃木信金	18	1.54%	+0.20	9	16	1.34%	▲0.03	
10	↓ 大田原信金	16	1.37%	+0.03	9	16	1.34%	+0.22	

3. 売上高規模別 ～ 足利銀行安定的シェア、大企業はメガバンクの浸透高い

売上高規模別でのメインバンクの状況は、ほかの項目と同様に足利銀行の強さが目に付く。最も企業数が多い売上高 5000 万円未満の事業規模で見ると、実に 4,032 社（シェア 46.25%）とのメインバンクとしての取引が確認できた。また、「1～5 億円未満」の 카테고리でも、3,109 社（同 48.13%）と群を抜いている。6 つの 카테고리すべてで 1 位と圧倒的な強さであった。2 位については、売上高 50 億円未満の 5 つの カテゴリで栃木銀行がランクインした。「50 億円以上」では、みずほ銀行が 2 位を確保した。3 位については、「5000 万～1 億円未満」、「1～5 億円未満」、「5～10 億円未満」、「10～50 億円」の 4 カテゴリで群馬銀行がランクイン、「5000 万円未満」では足利小山信用金庫が、「50 億円以上」では栃木銀行が入った。特に「50 億円以上」の大規模企業になると、みずほ銀行の 2 位をはじめ、4 位には三菱 UFJ 銀行、5 位には三井住友銀行といったメガバンクが参入してくる。比較的事業規模が大きくなるにつれて、事業資金のスケールも大きくなり、メガバンクがパートナーというケースの案件が増えてくるのは事実であろう。

5000万円未満 経年比較					2020年					2019年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
1	足利	(社)	46.25%	▲ 0.49	1	4,075	46.74%	▲ 0.34	1	4,075	46.74%	▲ 0.34		
2	栃木	2,162	24.80%	+0.44	2	2,124	24.36%	+0.02	2	2,124	24.36%	+0.02		
3	足利小山信金	282	3.23%	▲ 0.19	3	298	3.42%	±0.00	3	298	3.42%	±0.00		
4	↑ 群馬	275	3.15%	+0.02	5	273	3.13%	±0.00	5	273	3.13%	±0.00		
5	↓ 鹿沼相互信金	272	3.12%	▲ 0.08	4	279	3.20%	+0.07	4	279	3.20%	+0.07		
6	栃木信金	257	2.95%	+0.08	6	250	2.87%	▲ 0.13	6	250	2.87%	▲ 0.13		
7	鳥山信金	200	2.29%	▲ 0.02	7	201	2.31%	+0.09	7	201	2.31%	+0.09		
8	みずほ	151	1.73%	±0.00	8	151	1.73%	+0.07	8	151	1.73%	+0.07		
9	大田原信金	143	1.64%	+0.06	9	138	1.58%	+0.08	9	138	1.58%	+0.08		
10	↑ 佐野信金	113	1.30%	+0.13	12	102	1.17%	+0.01	12	102	1.17%	+0.01		

5000万～1億円未満 経年比較					2020年					2019年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
1	足利	(社)	45.36%	+0.34	1	1,865	45.36%	+0.34	1	1,848	45.02%	▲ 0.71		
2	栃木	1,101	26.78%	▲ 0.24	2	1,109	27.02%	+0.41	2	1,109	27.02%	+0.41		
3	群馬	170	4.13%	+0.28	3	158	3.85%	+0.01	3	158	3.85%	+0.01		
4	↑ 栃木信金	133	3.23%	+0.01	4	132	3.22%	+0.13	4	132	3.22%	+0.13		
5	鹿沼相互信金	130	3.16%	▲ 0.01	5	130	3.17%	+0.03	5	130	3.17%	+0.03		
6	足利小山信金	110	2.68%	▲ 0.05	6	112	2.73%	±0.00	6	112	2.73%	±0.00		
7	鳥山信金	76	1.85%	+0.02	7	75	1.83%	▲ 0.03	7	75	1.83%	▲ 0.03		
8	みずほ	66	1.61%	▲ 0.14	8	72	1.75%	+0.01	8	72	1.75%	+0.01		
9	常陽	64	1.56%	+0.03	9	63	1.53%	▲ 0.06	9	63	1.53%	▲ 0.06		
10	↑ 大田原信金	50	1.22%	▲ 0.14	10	56	1.36%	+0.08	10	56	1.36%	+0.08		

1～5億円未満 経年比較					2020年					2019年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
1	足利	(社)	48.13%	▲ 0.15	1	3,208	48.28%	▲ 0.19	1	3,208	48.28%	▲ 0.19		
2	栃木	1,604	24.83%	+0.12	2	1,642	24.71%	+0.19	2	1,642	24.71%	+0.19		
3	群馬	291	4.50%	+0.18	3	287	4.32%	+0.01	3	287	4.32%	+0.01		
4	↑ 足利小山信金	178	2.76%	+0.01	5	183	2.75%	+0.03	5	183	2.75%	+0.03		
5	↓ 栃木信金	171	2.65%	▲ 0.12	4	184	2.77%	+0.13	4	184	2.77%	+0.13		
6	鹿沼相互信金	169	2.62%	+0.06	6	170	2.56%	▲ 0.03	6	170	2.56%	▲ 0.03		
7	常陽	114	1.76%	▲ 0.09	7	123	1.85%	+0.01	7	123	1.85%	+0.01		
8	みずほ	109	1.69%	▲ 0.01	8	113	1.70%	▲ 0.16	8	113	1.70%	▲ 0.16		
9	鳥山信金	106	1.64%	±0.00	9	109	1.64%	+0.04	9	109	1.64%	+0.04		
10	↑ 大田原信金	89	1.38%	+0.04	10	89	1.34%	+0.10	10	89	1.34%	+0.10		

5～10億円未満 経年比較					2020年					2019年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
1	足利	(社)	48.74%	+0.01	1	594	48.73%	+0.33	1	594	48.73%	+0.33		
2	栃木	269	21.92%	+0.34	2	263	21.58%	▲ 0.05	2	263	21.58%	▲ 0.05		
3	群馬	85	6.93%	+0.04	3	84	6.89%	+0.32	3	84	6.89%	+0.32		
4	常陽	40	3.26%	+0.31	4	36	2.95%	▲ 0.50	4	36	2.95%	▲ 0.50		
5	↑ 足利小山信金	23	1.87%	▲ 0.02	7	23	1.89%	▲ 0.13	7	23	1.89%	▲ 0.13		
6	↑ 栃木信金	23	1.87%	+0.07	8	22	1.80%	+0.28	8	22	1.80%	+0.28		
7	↓ 鹿沼相互信金	23	1.87%	▲ 0.59	5	30	2.46%	+0.19	5	30	2.46%	+0.19		
8	↓ みずほ	22	1.79%	▲ 0.34	6	26	2.13%	▲ 0.14	6	26	2.13%	▲ 0.14		
9	鳥山信金	19	1.55%	▲ 0.17	9	21	1.72%	▲ 0.05	9	21	1.72%	▲ 0.05		
10	↑ 筑波	16	1.30%	▲ 0.01	11	16	1.31%	+0.22	11	16	1.31%	+0.22		

10～50億円 経年比較					2020年					2019年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
1	足利	(社)	49.49%	+1.23	1	472	48.26%	▲ 0.72	1	472	48.26%	▲ 0.72		
2	栃木	170	17.38%	▲ 0.51	2	175	17.89%	+0.47	2	175	17.89%	+0.47		
3	群馬	65	6.65%	▲ 0.61	3	71	7.26%	▲ 0.22	3	71	7.26%	▲ 0.22		
4	みずほ	53	5.42%	+0.10	4	52	5.32%	▲ 0.11	4	52	5.32%	▲ 0.11		
5	常陽	31	3.17%	▲ 0.31	5	34	3.48%	+0.71	5	34	3.48%	+0.71		
6	三井住友	20	2.04%	▲ 0.21	6	22	2.25%	▲ 0.11	6	22	2.25%	▲ 0.11		
7	↑ 三菱UFJ	15	1.53%	+0.30	10	12	1.23%	±0.00	10	12	1.23%	±0.00		
8	↓ 商工中金	15	1.53%	±0.00	7	15	1.53%	▲ 0.11	7	15	1.53%	▲ 0.11		
9	↓ 鹿沼相互信金	13	1.33%	±0.00	8	13	1.33%	+0.10	8	13	1.33%	+0.10		
10	↑ りそな	11	1.12%	+0.30	13	8	0.82%	▲ 0.51	13	8	0.82%	▲ 0.51		

50億円以上 経年比較					2020年					2019年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
1	足利	(社)	42.65%	▲ 1.01	1	116	42.65%	▲ 1.01	1	124	43.66%	+0.41		
2	みずほ	27	9.93%	+0.07	2	28	9.86%	+0.17	2	28	9.86%	+0.17		
3	栃木	21	7.72%	+0.33	3	21	7.39%	+1.16	3	21	7.39%	+1.16		
4	三菱UFJ	15	5.51%	▲ 0.12	4	16	5.63%	+0.09	4	16	5.63%	+0.09		
5	三井住友	14	5.15%	+0.92	5	12	4.23%	▲ 0.61	5	12	4.23%	▲ 0.61		
6	↑ 群馬	11	4.04%	+0.52	7	10	3.52%	+0.06	7	10	3.52%	+0.06		
7	↓ 農林中金	11	4.04%	+0.17	6	11	3.87%	+0.06	6	11	3.87%	+0.06		
8	商工中金	8	2.94%	+0.48	8	7	2.46%	+0.04	8	7	2.46%	+0.04		
9	↓ りそな	5	1.84%	▲ 0.62	8	7	2.46%	▲ 0.65	8	7	2.46%	▲ 0.65		
10	常陽	5	1.84%	▲ 0.27	10	6	2.11%	+0.03	10	6	2.11%	+0.03		

4. まとめ

11回目となるメインバンク調査であったが、結果的には大きな変化は見られず足利銀行の圧倒的優位と、栃木銀行や群馬銀行のシェアアップなどが目立った内容であった。栃木県内においては、足利銀行はシェア 46.85%を占め他の追随を許さない立場にあるが、全国的な視野に立てば、このシェアは特に大きなものではない。例えば、長崎県の十八親和銀行はシェア 84.44%、和歌山県の紀陽銀行は 63.85%、島根県の山陰合同銀行は 62.01%と 6割を超えるシェアを有する銀行は 5行、トップシェアバンクがシェア 5割以上の都道府県は 47都道府県中 18県にも及ぶ。つまり、足利銀行を上回る事業基盤を有している銀行は多々あるわけだ。もちろんメインバンクとする企業の数だけで評価はできないだろうが、そういった銀行がそれぞれ生き残りをかけて様々な連携、連合を模索しているということだ。

冒頭で述べたように、金融再編の波は現実味を帯びてきている。菅総理の「地銀は多すぎる」発言がトリガーとなって、今後その動きに拍車がかかるという懸念も指摘されている。足利銀行のみならず、栃木銀行や地元信用金庫がどういった経営施策を講じるのか、何より地元企業への安定的な資金提供や経営支援は維持されるのかなど、懸念材料は後を絶たない。今後も金融機関の動向、そして企業にとってはメインバンクの取捨選択など、注視して見ていく必要があるだろう。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク宇都宮支店 情報担当：古川哲也

TEL 028-636-0222 FAX 028-633-5639

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。